

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 放課後等デイサービス蒼

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		環境整備を行い、スペース確保を行いました。またスペースを活動別で細かく決めました。	
	2	職員の配置数は適切である	○		必要人員よりも多く人員配置を行うようにしております。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車いすの方でも利用できるよう、環境整備をしております。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		業務前と業務後で、ミーティングを行っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年1回アンケート。送迎時に保護者と話した内容は、ミーティングにて共有しております。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	現在、第三者評価は行っていません。	必要に応じて、第三者評価を実施します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修と児童ミーティングで、資質向上の機会を確保しています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と子どもとの面談にて、ニーズと課題を把握します。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		独自のアセスメントシートにて評価。半年毎に再評価を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		プログラム立案は職員で決定。業務後に活動に対してミーティングします。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ミーティングにて活動プログラムを決定しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個別活動、集団活動、課外活動(休日、長期休暇)で、目的を設定して支援しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の課題に合わせた個別支援と集団支援を実施しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務前ミーティングにて確認しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務後ミーティングにて共有しております。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		HUGIにて記録の管理。支援内容はミーティングにて検証・改善の話し合いを行っております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回モニタリングを実施しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		支援内容はホームページに掲載しております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者と支援者が必ず参加するようにしております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との連携は問題なく行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在、医療的ケアの児童はいません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		新1年生の児童は支援開始までに情報共有と事業所内で話し合いを行っております。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		情報提供し、支援がスムーズにいくようにしております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		職員研修では分野の、専門家を呼んでおります。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		交流はできていませんが、今後できるように繋がりは作っております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		可能な限り参加するようにしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時と記録にて保護者と話しをしております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		必要に応じて、ペアレントトレーニングを実施します。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談や送迎時に保護者からの相談は聞いて、共有しております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		年1回保護者会を開催しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があった場合は早急に対応しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		公式ラインにて、予定をお知らせしております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付きロッカーで保管しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもや保護者に正確に情報伝達できるよう、配慮しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		長期休みに地域住民と関わるイベントを実施します。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルを作成し周知しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回消防、避難訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		入職時と年1回実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束は委員会で話し合い後、保護者と話し合いをして決定。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		おやつ、クッキングは食物アレルギーを考慮し提供しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットはその日に全職員に共有しています。	